

令和5年度第3回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

令和6年2月6日（火）15:00～16:30

糸魚川市役所 2階 201・202 会議室

【出席委員】

井川賢一会長、吉田学委員、白石雅孝委員、塚田二郎委員、猪又直登委員、小谷野黎委員代理、山田明男委員、鹿野剛史委員、荻原一浩委員代理、清水孝人委員、池上和弥委員、大貫清志委員、恩田浩幸委員、伊藤こずえ委員、斉木房子委員、齊藤勝巳委員、新倉孝礼委員、山田一輝委員、長沼潔委員、山本宏樹委員、野本宏一委員、渡辺一彦委員 以上 22 人

【事務局】

産業部：大嶋利幸部長

都市政策課：五十嵐博文課長（事務局長）、内山俊洋課長補佐（事務局次長）、

渡辺直志交通政策係長、仲川智明主査、菊池祐希主事

福祉事務所：磯貝恭子所長、山岸千奈美次長

【会議の概要】

1 開会

- ・都市政策課課長補佐の進行で15:00開会

2 会長挨拶

- ・会長（糸魚川市副市長）による挨拶

<会議成立報告>

- ・委員出席状況は、総数28人中22人が出席となり、協議会規約第9条第2項に規定する過半数に達していることから、本会議の成立要件を満たしている旨を報告。

3 報告

- ・議事進行は都市政策課課長補佐

- （1）糸魚川市地域公共交通協議会 委員の交代
- （2）第2回糸魚川市公共交通協議会（書面会議）について
- （3）能登半島地震による公共交通の状況

(4) 県道仙納徳合線崩落による臨時バスの運行

委員：12月21日未明に県道仙納徳合線の路肩が40mにわたり決壊。原因は、融雪水と降雨による地下水位の上昇と考えられる。開通の時期は未定、融雪が終わってからの本格的な着手となるため令和6年度の降雪前までの開通を考えている。

会長：開通が令和6年度の降雪前とのことだが、地域にとって大事な道路であるのでできるだけ早く開通するようお願いする。

4 議事

- ・議事進行は会長（糸魚川市副市長）

議案第1号 令和6年春 路線バスダイヤ改正

副会長（バス事業者）：利用の少ない便の減便もあるが、運転手不足により便数削減が必要な状況もありR6ダイヤに反映。今現在、運転手27名であり路線バスを維持するギリギリの人数。そういった状況を踏まえた改正内容であることもご理解いただきたい。

会長：改正内容については、地元へ説明し合意を得ての提案か。

事務局：各沿線地区へは複数回協議し、合意を得ている。

委員：今回変更概要にある見直しフローについて概要を教えてほしい。

地区との協議はできているようだが、学校や通学する学生との協議はできているか

事務局：見直しフローは、再編実施計画に基づく路線バスの見直しから一定期間が経過した中で、利用状況の改善の進み具合を設定した基準の達成状況から判断し、基準に達していない路線について、さらなる見直しを進める手法。

小学校、中学校とは協議を行っている。学校を通じて生徒の利用の状況を聞き取っている。

(決議) 原案のとおり承認

議案第2号 令和6年春 コミュニティバス、乗合タクシーダイヤ改正

委員：さらら青海玉ノ木線のダイヤ改正にて、あさひまちバスとの接続が図られるということで感謝申し上げたい。あさひまちバスは令和7年3月の改正時は大規模なダイヤ改正を検討している。その際は接続を含め一緒に協議検討させていただきたい。

(決議) 原案のとおり承認

5 その他

- ・議事進行は都市政策課課長補佐

○福祉有償運送法人の事業終了について

○次期公共交通計画の策定について

○協議会委員 任期終了と更新のお願い

○交通事業者の近況報告

委員（コミバス事業者）：利用者が減っていく状況、事業者側の努力も当然足りないところもあるが、やはり人口の関係だとか高齢化が影響している。高齢化なら公共交通を使うというふうに思うかもしれないが、一昔前は免許持ってない方が結構おられて、高齢化を伴って歩くのが困難になって公共交通を使うという状況だった。今はもう高齢化になって元気な方は免許を持って運転ギリギリまでしますので、免許手放すときにはもう実際のところはもうほとんど歩けない、そうすると公共交通に乗れない。現状として、公共交通を担うものからするとなかなか利用者が増えていく要素がない。そういった市民生活の中でどういうふうに公共交通があって良かったよねっていうものにしていくかが、最初の課題なのではないか。

委員（タクシー事業者）：タクシー事業では、夜間のドライバーがいないことで飲食店へも影響を与えており大きな社会問題と感じている。使命感はあるのだが、これは維持することが非常に大変。できることは知恵を使ってやっていく。
ドライバー不足は全事業者の共通の課題。行政にもご協力いただきドライバー確保に向けた政策を打っていただけるとありがたい。

委員（鉄道事業者）：北陸新幹線は、令和6年3月16日に福井県敦賀まで延伸開業する。関西方面への移動がよりスムーズに、より早く快適になる。東京方面についても、輸送品質を決して落とさないよう調整したのでご利用いただきたい。
大糸線については、非常に厳しい状態。地域の皆様のお力添えもいただきながら地域の皆様にとってご利用しやすい、持続可能な交通というのは何なのかをしっかりと連携していく必要がある。
富山県では、投資と参画というキーワードを掲げて、様々な取り組みを進めている。税金を使うということもさることながら、地域の皆様として交通に対してどう関与していくのか、参画していくのか、そういった観点もぜひこの機会に考えていただきたい。

委員（鉄道事業者）：3月16日にダイヤ改正。日本海ひすいラインは変更等はなし。

運転手以外も含め、採用募集するがなかなか集まらない。そういった中でも、公共交通としてきちんと今まで通りの運行を行っていききたい。

委員（バス事業者）：グループの会社全てで運転手が不足をしている状態。2月1日に募集したところ2人入社が決まった。国では外国人労働者の2種免許取得について議論されている。言語の問題などいろいろあると思うが、まずは、住民の移動確保が最優先だと考えている。

6 閉会

- ・都市政策課課長補佐の挨拶で16:30 閉会

■協議会の様子

